

経営比較分析表（令和3年度決算）

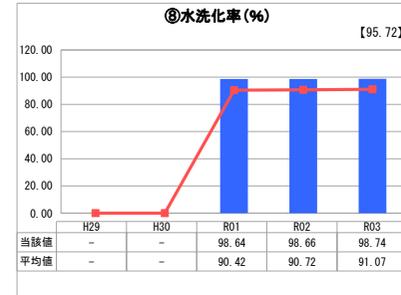
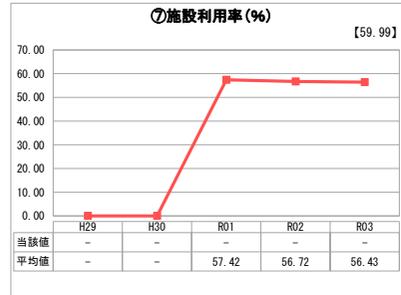
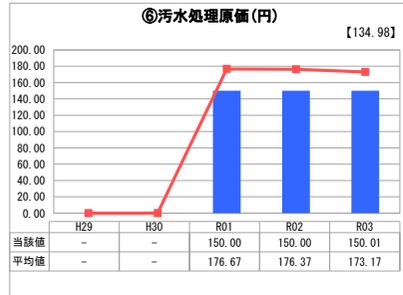
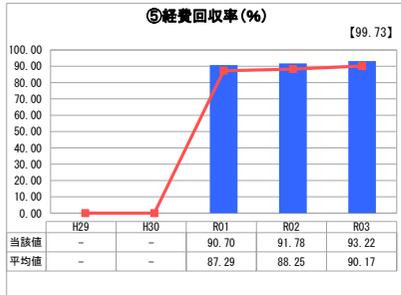
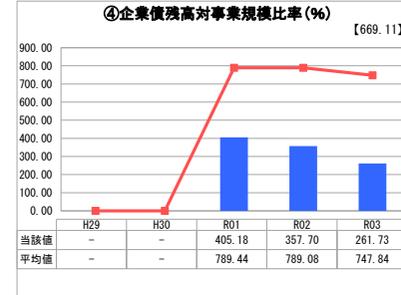
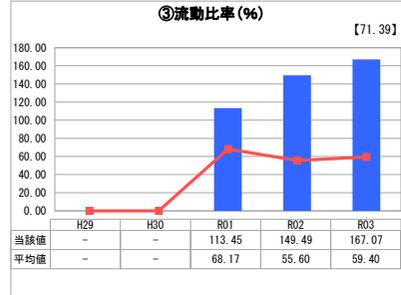
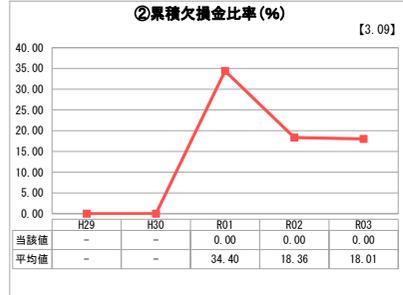
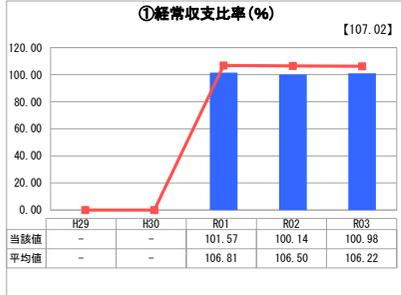
茨城県 東海村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	78.48	62.24	78.95	2,640

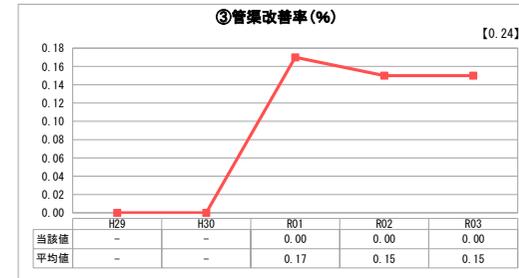
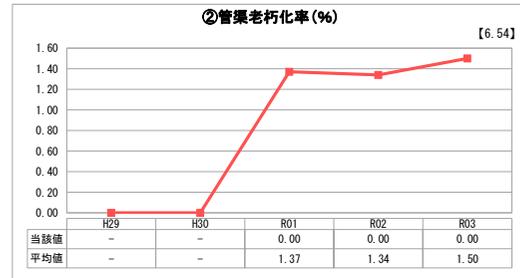
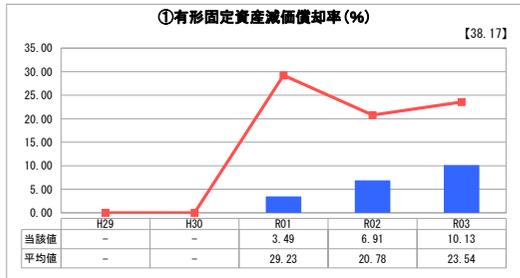
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
38,328	38.00	1,008.63
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
23,815	7.75	3,072.90

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、収支が黒字であることを示す100%以上となっているため、経営は健全であるといえる。しかし、類似団体平均値を下回っているため、引き続き接続促進による収益向上と経費削減に努めていく。
 ② 累積欠損金は発生しておらず、経営は健全であるといえる。
 ③ 流動比率は100%以上を維持しており、1年以内の支払能力は十分であるといえる。
 ④ 企業債残高対事業規模比率は類似団体平均値より低く、概ね効率的で料金水準にあった適正な投資を実施しているといえる。
 ⑤ 経費回収率は、類似団体と同程度であるが、接続促進による収益向上や経費削減に努めていく。
 ⑥ 汚水処理原価は類似団体平均値より低い数値となっているため、引き続き維持管理費の削減や有収水量の向上に努めていく。
 ⑧ 水洗化率は類似団体平均値を上回っており、良好であるが、使用料収入の確保の観点から、更なる接続率向上に取り組んでいく。

2. 老朽化の状況について

法定耐用年数を超えた管渠はないが、今後はストックマネジメント計画に基づき、老朽化した管渠の長寿命化を図っていく予定である。

全体総括

現在の経営状況は概ね健全な状態であるといえるが、今後は維持管理・更新コストの増大や人口減少による有収水量の減少など、厳しい条件が増える予想されるため、令和2年度に策定した経営戦略やストックマネジメント計画に基づき、持続可能で健全な企業運営体制を構築していく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。